

# お寺大会 エントリーシート

2013. 6. 15

No.7

出品者名

中山 好雄

作品タイトル

W52way Monitor

作品紹介（回路図と、出品者本人のコメント・所感など）

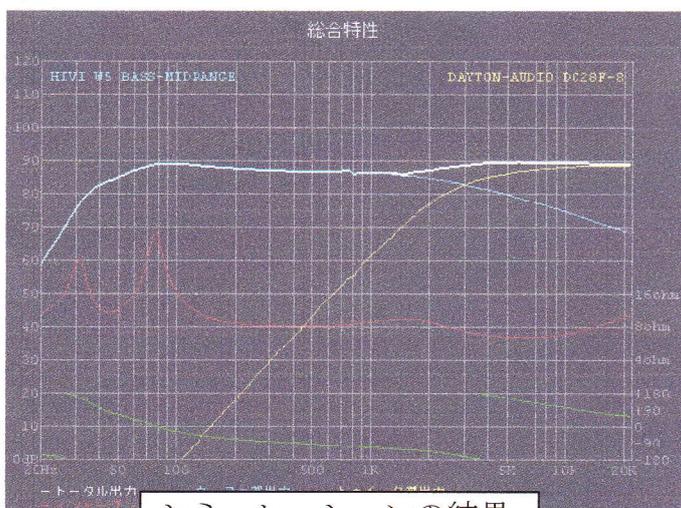
会の共用システムと言う課題なので、さまざまなアンプがつながることを考えると、スピーカーの特徴が出ないようにするのが一番、ということが製作の目標です。

密閉にしようかと思いましたが、あまり大きくもできないのでバスレフにしておいて低域の出方によってはふさいでしまうことにし、ダクトは直接音を避けて背面に開口することにしました。箱鳴りをできるだけ抑えてユニットからの音を忠実に出すため、板厚を出来る限りとって補強も十分に、ということまで。。

当初手持ちのウーファーを対向で使うことを前提で寸法を決め、板を発注してから12cmだと思っていたウーファーが10cmしかないことに気づきました。

(マヌケ) 箱の大きさに比べいかにもアンバランスだし、また寸法からやり直すのも面倒だったので、泣く泣く箱に見合う大きさの(安い)ユニットを購入。費用の点から対向配置もあきらめて極めてオーソドックスなスタイルになりました。

ネットワークはネット上のシミュレーションソフトを利用させてもらって検討した結果、ウーファー側を-6、ツイーター側を-12dB/OCTとやや変則なクロスとして定数を決めましたが、

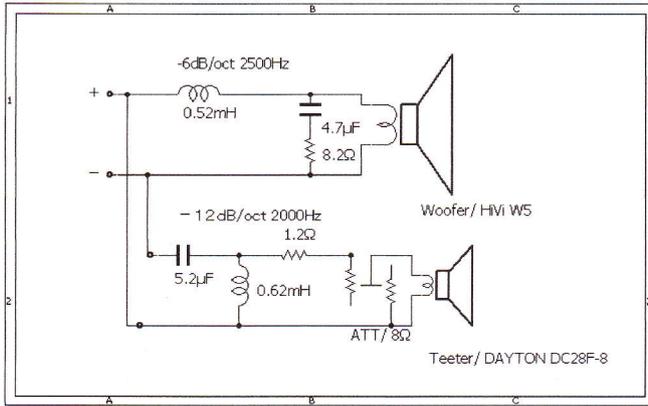


実機の測定でクロス付近にディップが見られたので、ツイーターは逆相での接続にしました。(シミュレーションとは逆の結果)

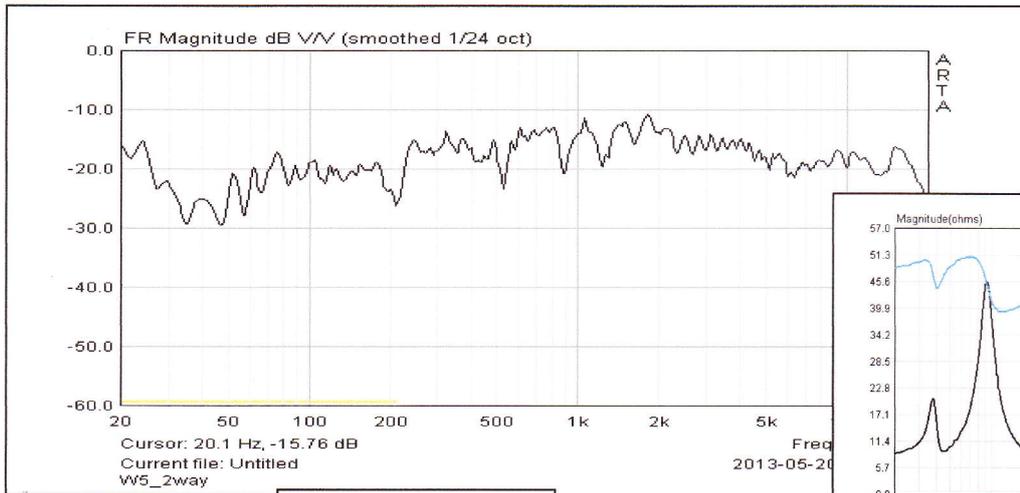
箱を組んでから可搬条件に気がきましたが、後の祭り。片チャンネル10kgあるので手持ちはちょっと無理です。残念！！でも運ぼうと思えば運べます。

この用紙は2枚記入し、1枚は作品に添付、1枚は事務局に提出してください。  
この作品紹介を参考に大会レポートを作成します。

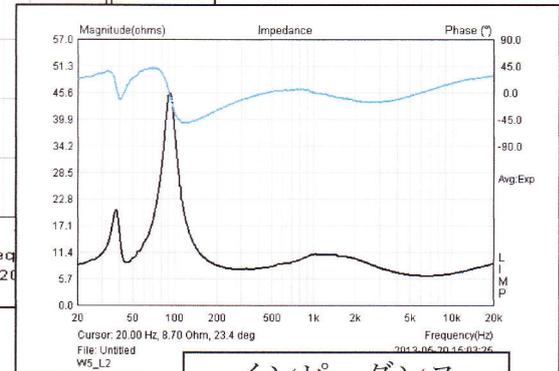
ネットワーク：



特性：



周波数



インピーダンス

制作費：

制作費(1セット)

項目	仕様	購入先	個数	単価	費用
板材	馬尾松集成材25×510×2400mm	北零WOOD	1式	4,050	4,050
ウーファー	Hi-Vi W5	六本木工学研究所	2	4,800	9,600
ツイーター*	Dayton DC28FS-8	横浜ベイサイドネット	2	3,900	7,800
空芯コイル	線材のみ1PEW1.2mm	電線ストア.com	1kg	2,800	2,800
フィルムコンデンサ*	AuricCap 4.7µ	横浜ベイサイドネット	2	385	770
アッテネーター*	8Ω	横浜ベイサイドネット	2	1,100	2,200
ターミナルカップ*		横浜ベイサイドネット	2	540	1,080
キャップボルト	M5x25	モノタロー	20	32	640
皿ボルト	M4x6	モノタロー	6	30	180
	M5x35	モノタロー	20	30	600
鬼目ナット	M5x11	モノタロー	40	30	1,200
ラッカープレー		モノタロー	1本	590	590
費用計					31,510

その他:吸音材、線材、抵抗など若干 \*は手持ち品